

Ⅳ 教育課程

設置学科 【環境・流通サポート科】 定員 16 名

1 教育課程編成の方針

- (1) キャリア教育を体系的に進め、生徒が主体的に進路を選択、決定し、職業生活を中心とした主体的で自立的な社会生活及び家庭生活を送ることができる教育課程の編成に努める。
- (2) 学習指導要領に示された教科等の目標を踏まえ、その内容を確実に指導するために「教科別、領域別の指導」を編成の原則とする。
- (3) 専門教科を主とする学科である「環境・流通サポート科」において、「流通・サービス」は基より、就労先として選択の幅が広がる「福祉」を取り入れる。
- (4) 学校近隣の企業等と連携し、学校での作業内容が現場で生かせるよう専門教科における各教科の実習を「校内作業実習」「地域貢献活動」及び「企業内作業実習」と段階的に行う。
- (5) 職場実習では、学年による目標を設定し、雇用直結型の実習となるようジョブマッチングを図る。

2 本年度の重点

- (1) 生徒一人一人の自尊感情を高め、自他を大切にできる生徒を育てる。
- (2) 就労観の育成を図り、特にソフトスキルの達成度を明確にしながら、社会参加、職業自立できる生徒を育てる。
- (3) 他の生徒との協働（対話的学び）による、問題発見・解決を図る「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行う。

3 指導の重点

	指導の重点
各教科	・生徒一人一人の実態に応じた指導の工夫、充実を図る。 ・地域の特性を生かし、生活に結びついた効果的な指導を行う。 ・各教科の観点や特長を生かした指導を行う。 ・情報機器等を活用し、社会の変化に応じた指導を行う。
道徳	・働く意欲や生きる意味を考え、感謝の心を育み、積極的に社会参加する態度を育てる。 ・自己理解を深めるとともに、他者を尊重し、健全な人生観を教育活動全体とおして育てる。
総合的な学習の時間	・地域や人との関わりを実感し、生きる力を育てる指導を行う。 ・学び得た知識を総合的に活用し、課題解決に向け主体敵に行動できる力の育成を図る。
自立活動	・キャリア教育を根幹に、教育活動全体をとおして指導する。 ・生徒一人一人の実態や発達段階に応じた指導を行う。 ・良好な人間関係を形成し、コミュニケーション能力を育成する。
特別活動	・ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事等をとおして、社会性や豊かな人間性を育む。 ・ホームルームや学年での集団活動をとおして、望ましい人間関係の形成を図る。 ・ホームルーム活動をとおして、キャリアカウンセリングを実施、職業観、就労観の育成を図る。

4 年間授業時数

学 年			1	2	3
各 教 科	国語		6 6	5 6	5 4
	社会		3 3	2 8	2 7
	数学		3 3	2 8	2 7
	理科		3 3	2 8	2 7
	音楽		3 3		
	美術			2 8	2 7
	保健体育		1 3 2	1 1 2	1 0 8
	職業		5 6	4 6	5 4
	家庭		3 3	2 8	2 7
	外国語				
	情報		3 3	2 8	2 7
	主として専門	流通・サービス	4 5 6	5 4 6	5 6 4
	学科に開設さ	福祉	1 0	1 0	
	れる各教科				
小計		9 1 8	9 3 8	9 4 2	
道徳			1 6 . 5	1 4	1 3 . 5
総合的な学習の時間			3 3	2 8	2 7
特別 活動	ホームルーム活動		6 6	5 6	5 4
	生徒会活動				
	学校行事				
自立活動			1 6 . 5	1 4	1 3 . 5
合計（学校行事を除く）			1 0 5 0	1 0 5 0	1 0 5 0

5 平成 30 年度の主な予定

前 期		後 期	
4 月	・ 始業式 ・ 入学式 ・ 新入生歓迎会	10 月	・ 前期始業式 ・ 職場実習（1 学年）
5 月	・ 遠足 ・ 職場実習（2 学年）	11 月	・ 2 学年見学旅行
6 月	・ 1 学年宿泊研修 ・ 職場実習（3 学年）	12 月	・ 交流祭
7 月	・ スポーツフェスティバル ・ 定期考査（全学年）	1 月	・ 卒業考査（3 学年）
8 月	・ 職場実習（3 学年）	2 月	・ 学年末考査（1・2 学年） ・ 同窓会入会式 ・ 予餞会
9 月	・ 前期終業式 ・ 職場実習（2 学年）	3 月	・ 卒業式 ・ 後期終業式